

# 地域トピックス

## ◆秋の豊作を祝う (小友町)

鷹鳥屋まつり (同実行委員会主催) は10月10日、鷹鳥屋農村公園野外ステージで開催され、地区住民が地域の郷土芸能共演会を堪能しました。

まつりでは、小友中学校吹奏楽部の演奏や鷹鳥屋しし踊り、鷹鳥屋神楽、鷹鳥屋甚句が披露されたほか、岩滝保育園児によるお遊戯や飛び入りでカラオケを歌う人が出るなど、子どもからお年寄りまでが楽しい一日を過ごしていました。



勇壮なしし踊りを披露する鷹鳥屋しし踊り保存会の皆さん

## ◆個性豊かな作品出そろう (宮守町)

第2回遠野郷「案山子まつり」は10月10日、宮守川上流親水公園で開催され工夫を凝らした案山子91体の出展に大いにぎわいました。

このまつりは、平成15年に上宮守地区のほ場整備事業が完了したことを記念して、農事組合法人宮守川上流生産組合環境部会が昨年より開催しているものです。子供の部金賞には佐藤優斗くん (宮守小2年)、大人の部金賞には阿部タイさん (宮守町) の作品がそれぞれ選ばれました。



子供の部で金賞を受賞した佐藤優斗くんの作品⑥ほか



やわらかな日差しを受け、秋の遠野路を歩く参加者

## ◆秋晴れの遠野でさわやかな汗

第六回民話のまち遠野ウォーキング大会が十月十六日、土淵町で開催されました。土淵地区センターを発着点とする六、十二、十六のコースに市内外から二百五十五人が参加。さわやかな秋晴れの下、色づき始めた山々や田園風景を楽しみながら、思い思いのペースでゴールを目指していました。武蔵野市から参加した矢島幸男さんは「遠野を訪れたのは今回で二回目です。緑がいつばいで日本のふるさとらしい景色でした。今度来る時には早池峰山に夫婦で登りたいです」と笑顔で話していました。



体験談を交えた講演を熱心に聴く受講生

## ◆おもてなしの本質を学ぶ

東北ツリーズム大学の十月講座は、十月二十二日から三日間、ふるさと村で開催され「おもてなしの本質を知る」をテーマに講義や実習などが行われました。二十三日には市民公開講座が開かれ、サービスクンサルタントの福島規子さんが「人をもてなすために求められること」と題し講演を行いました。福島さんは「お客様が何を求めているかは、客に聞くよりも客を見ることから始まる」など、お客様へのサービスの在り方についてさまざまな事例を交えて講演し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## ◆食欲・芸術の秋にぎわう

第二十三回躍進みやもり祭は十月八、九の両日、宮守体育館を主会場に開催され、大勢の来場者でにぎわいました。この催しは、旧宮守村で毎年開催していた産業まつり、村民芸術祭、JAふれあい祭、にぎやか祭りの総称で、地場産品の展示・販売や市内企業の製品が展示されたほか、町民が描いた絵画や書道、陶芸などの作品が展示されました。会場では、豪華賞品が当たるファミリーチャレンジクイズなど、さまざまなイベントが行われ、買い物や食事に訪れた家族連れを楽しませていました。



地場産品を買い求める来場者

## ◆遠野の豊かな自然を満喫

東京都武蔵野市の児童十九名は、十月八日から三日間、遠野市を訪れ、市内の児童と交流を深めました。遠野市からは少年少女ふるさと発見探偵団の団員三十四名が参加し、初日はふるさと村でそば打ちとひつつみ作りを体験。二日目には、荒川高原でハイキングを行うなど、ふるさとの味と自然を満喫していました。武蔵野市の児童の中には、八月にふるさと学校体験留学で遠野を訪れた子もいて、ホームステイ先の家族との再会に話が尽きない場面も見られ、ふるさと遠野を満喫した三日間でした。



ふるさと村でそば打ちを体験する武蔵野市の児童

# まの話題



## 接戦を制し、宮守中初優勝

宮守中学校野球部は、10月15日から2日間、県営野球場などで開催された県中学校新人野球大会で、初優勝しました。

昨年優勝した綾織中学校に続き、遠野地区が2連覇を成し遂げました。



優勝	宮守中学校(初)
1回戦	2-0 大船渡一 (延長八回特別ルール)
2回戦	1-0 山田
準決勝	1-0 栗石
決勝	2-1 久慈